

昭和のくらし博物館特別展

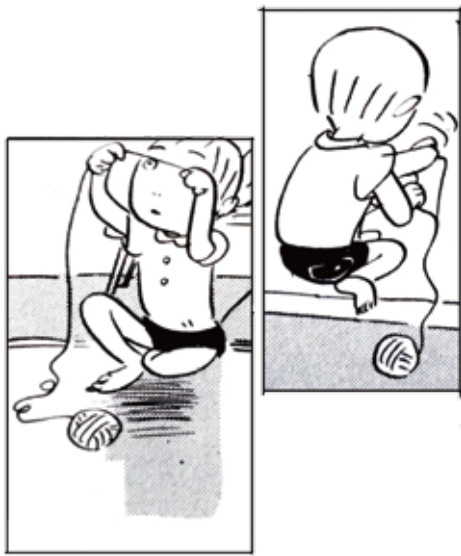
高野文子の描く

昭和のこども原画展

会期：2017年10月6日(金)～12月24日(日) 開館日は会期中の金・土・日・祝日

少女漫画から絵本、科学、裁縫、ペーパークラフトと、二次元から三次元の世界を縦横無尽に行き交う漫画家・高野文子さん。「絶対安全剃刀」「おともだち」「黄色い本」など、その作品の端々に描かれる昭和のこどもや情景を、昭和の家にてご紹介します。会期中には、製作の源流となった自身のこども時代を語るトークイベントやワークショップも開催。漫画の原画、ペーパークラフト、そして、未発表のアイデアノートなど。どうぞ高野ワールドから昭和を見つけ出して下さい。

同時開催の企画展「楽しき哀しき昭和の子ども」展(2017年9月8日(金)～2019年3月31日(日))では、高野さんが「山口さんちの子ども部屋」の展示を手がけています。こちらも必見。



会期中のイベント (トーク・ワークショップは予約制となります)

■トークイベント

10月21日(土) 午後1:00～3:00

「50年前 わたしのこども時代」

高野文子さん

×

里村洋子さん

高野さんと同じ新潟県出身で当館の研究会員の里村洋子さんと高野さんが、こども時代の思い出を語り尽くします。

会場：鶴の木特別出張所／定員：100名

参加費：1,000円(入館料込み)



■ワークショップ

10月29日(日) 午後1:00～5:00

「キモノ解きのつどい」

博物館の談話室で古い着物をほどこ手仕事をします。高野さんとおしゃべりしながら、着物ほどこを手伝ってくださる方を募ります。ぶきっちゃんも歓迎です。

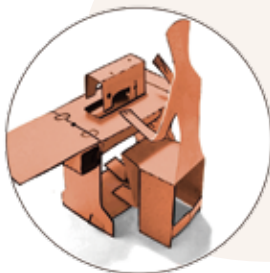
会場：昭和のくらし博物館 談話室／定員：20名

参加費：1,500円(入館料・お茶お菓子・小さなおみやげ付き)



■特別展記念ペーパークラフト

「ミシンを踏む人」



特別展を記念して、高野さんが昭和のペーパークラフトを作って下さいました。

*ペーパークラフトは毎日ご用意しています。(予約不要／有料)

12月2日(日) 午前10:30～午後2:30

「障子張りと障子の切り紙づくり」

毎年開催している「昭和くらしの学校～障子張り講座」に今年は高野さんもご参加下さいます!紙の修復の大家・増田勝彦先生に昔ながらの障子張りを習い、古い障子紙を燃やして竈で炊いたご飯を食べた後は、障子の破れ隠しに使っていた切り紙を高野さんと作ります。

会場：昭和のくらし博物館／定員：15名

参加費：2,500円(入館料・材料費込み・お昼ご飯付き)

イベントのお申込方法

昭和のくらし博物館まで下記を添えて、メール、電話、FAXでお申込みください。

氏名/住所/電話番号(当日連絡のつく番号)・FAX・メールアドレス
(PCメールを受信できるもの)

*5日前までに参加費を下記郵便振替口座にお支払いください。

(ご入金後の返金はいたしかねますのでご注意ください。)

《郵便振替口座》

口座名：昭和のくらし博物館/口座番号：00110-9-138174

／通信欄に「特別展ワークショップ参加費・参加希望日」を記入

ご予約・お問合せ先

昭和のくらし博物館

開館時間：午前10時～午後5時

入館料：大人500円 小学生～高校生300円

開館日：金・土・日曜日・祝日

〒146-0084 大田区南久が原2-26-19

TEL・FAX 03-3750-1808 (開館時間内)

mail@showanokurashi.com

http://www.showanokurashi.com



昭和のくらし博物館は、昭和26年建築の木造2階建の庶民住宅(登録文化財小泉家住宅)を丸ごと公開している博物館。昭和30年後のくらしの常設展・企画展・特別展などの他、くらしを考える講座・イベントを随時開催。

